

## 岐阜県理学療法士協会 生涯学習部研修会

日時：2023年2月5日 日曜日 10時～13時

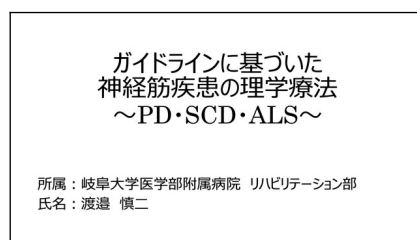
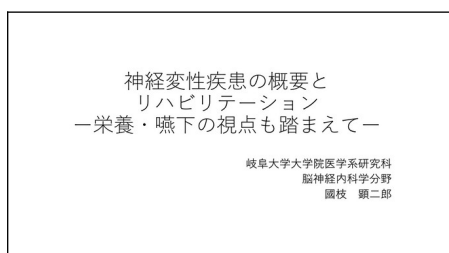
場所：ZoomによるWEB研修 参加人数：受講者16名 スタッフ2名

講師：國枝 顯二郎先生（岐阜大学脳神経内科医師 臨床講師）

テーマ：「神経変性疾患の概要とリハビリテーションー栄養・嚥下の視点も踏まえてー」

講師：渡邊 慎二先生（岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

テーマ：「ガイドラインに基づく理学療法（PD、SCD、ALSを中心に）」



### 《報告》

今回の研修会は神経筋疾患に焦点を当て、岐阜大学脳神経内科医師の國枝先生と、岐阜大学医学部附属病院リハビリテーション部の渡邊先生に講師をお招きしてWEB研修会を開催しました。神経筋疾患に対して神経内科医師の講義を聞く機会は今までほとんど無く、貴重な研修会であったと思います。

はじめに、國枝先生の講義では、主にパーキンソン病と進行性核上性麻痺、筋萎縮性側索硬化症についての概要や現在の治療法についてでした。パーキンソン病などの症状の変動のある疾患は、その都度ゴールの見直しが必要である事、運動症状だけではなく、非運動症状に対しても考えるべきである事（UPDRSなどの評価項目を使用する）、運動療法は薬物療法と併用することで効果が更によくなるため、リハビリを実施していく上でどんな治療をしているのかを我々セラピストはしっかりと把握することが大切であることが確認できました。また、リハビリの時間は患者から話を聞くことができる時間でもあるため、食事が摂れているかなど情報収集ができ、医師や看護師に報告できる懸け橋になればよいと感じました。

次に、渡邊先生の講義では現在の神経変性疾患におけるガイドラインを中心にPTとして臨床に直接活かす事ができるお話でした。ガイドラインの中でもしっかりとポイントを押さえていろいろとご教授していただき、とても分かりやすく講義いただきました。筋萎縮性側索硬化症に関しては、最新のコミュニケーション支援の方法や福祉用具の紹介していただき、とても勉強になりました。

両講師の先生とも、難しい分野での講義であったと思いますが、分かりやすくお話してくださり、貴重な話が多く聴くことができ、とても良い研修会であったと感じます。

生涯学習部 岐阜地域担当 渡邊 翼